

和子牛生産者臨時経営支援事業参加申込書【記載例】

年 月 日

〇〇社団法人〇〇都道府県指定協会
会長 殿

住 所
氏 名
生産者補給金交付契約者番号
〇〇〇〇〇〇

和子牛生産者臨時経営支援事業に参加したいので申し込みます。
併せて、支援金の交付対象となった場合は、支援交付金の交付を申請します。
なお、肉用子牛生産者補給金制度の適正な実施に努めるとともに、生産者補給金交付契約第17条の各号のいずれかに該当する場合には、本事業で交付された支援交付金を返還することを誓約します。
また、肉用子牛生産に係る合理化を促進するため、下表の目標値を設定し、経営改善に向けて努力します。

都道府県が作成する「酪農及び肉用牛生産の近代化を図るための計画」や「改良に関する計画」に記載のある指標を参考に記入

【合理化促進に向けた努力方針】

項目は一つ以上選択すること

現況値は直近の数値を記入

目標に向けた具体的な方法を記入

項 目	現況値 (令和3年度)	目標値 (令和12年度)	備 考
<input checked="" type="checkbox"/> 肉用子牛の出荷月齢の早期化 (品種：)	10 月 齢	8 月 齢	・ 発育能力に応じた適正出荷月齢の見極めなど
<input type="checkbox"/> 繁殖雌牛の初産月齢の早期化	24.5 か月 齢	23.5 か月 齢	・ 発情発見の向上 ・ 適期授精の徹底など
<input type="checkbox"/> 繁殖雌牛の分娩間隔の短縮	13.2 か月	12.5 か月	・ 発情発見の向上 ・ 適期授精の徹底など
<input type="checkbox"/> その他 (飼料の低コスト化)	放牧の実施 0ha	放牧の実施 2ha	・ 耕作放棄地の活用

- (注) ① 1か所以上の項目をチェックして下さい。
② 現況値は過去の実績を踏まえて数値で記載して下さい。
③ 目標値は将来に向けた努力目標をそれぞれ数値で記載して下さい。